

令和4年度 行政評価調書

■ 施策の概要

(第7次総合計画 基本計画 P.154～155)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ6 生きがいにあふれ、人と文化を育むまち(生きがい・文化)		
施策名	6-3 スポーツ・レクリエーション		
所管部	教育部	関係部	なし
この施策の 目指すべき姿と その展開方向	<p style="text-align: right;">(第7次総合計画 基本構想 P.45)</p> <p>生涯各期における多様なニーズに対応し、市民の誰もがスポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできるまちを目指します。 このため、生涯スポーツの普及と競技力の向上を図るとともに、スポーツ団体等との連携や支援に努め、四季を通じてスポーツ・レクリエーション活動を推進します。 また、市民ニーズに応じた体育施設の整備と適正な運営等に努め、利用促進を図ります。</p>		
市民アンケート 指標	気軽にスポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	基準値	目標値
		23.1%	基準値より増

■ 施策の内容(小施策)

(第7次総合計画 基本計画 P.154～155)

小施策 及び 指標	(1)生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と市民体力の向上		基準値	目標値
	指標	成人の週1回以上のスポーツ実施率	24.2%	65.0%
	(2)スポーツ団体との連携と競技力の向上		基準値	目標値
	指標	成人の週1回以上のスポーツ実施率(再掲)	24.2%	65.0%
	(3)体育施設の整備と利用促進		基準値	目標値
	指標	主な体育施設3施設(総合体育館、高島小学校温水プール、銭函パークゴルフ場)を利用する延べ利用者の人口に対する割合	117.0%	122.0%

令和4年度 行政評価調書

■施策の評価(一次評価)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ6 生きがいにあふれ、人と文化を育むまち(生きがい・文化)					
施策名	6-3 スポーツ・レクリエーション					
所管部	教育部	関係部	なし			
市民アンケート 指標	気軽にスポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合				目標値	
	基準値	令和3年度	令和5年度	目標値		
	23.1%	34.7%		基準値より増		
市民アンケート 指標の推移	◎	◎:指標の推移は順調 △:指標の推移は順調でない -:判定不能(実績値なし)				
各小施策の 指標の推移	指標		基準値	実績値	推移	目標値
	(1)	成人の週1回以上のスポーツ実施率	24.2%	36.9%	◎	65.0%
	(2)	成人の週1回以上のスポーツ実施率(再掲)	24.2%	36.9%	◎	65.0%
	(3)	主な体育施設3施設(総合体育館、高島小学校温水プール、銭函パークゴルフ場)を利用する延べ利用者の人口に対する割合	117.0%	64.6%	△	122.0%
指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)						
【一次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後の 方向性	A-1	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う			
総評及び今後の 具体的方針 ほか特記事項	<p>令和3年度には新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、北海道においてもまん延防止等重点措置や緊急事態宣言に基づく感染拡大防止策が講じられたことにより(感染第4波《3~6月》・第5波《6~12月》・6波《12月~》)、屋内体育施設を中心に休館等が長期化したことや、おたる運河ロードレース大会の2年連続中止などにより、市民がスポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる場や機会の確保については課題が残った。</p> <p>一方、このような状況にあつて、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合、成人の週1回以上のスポーツ実施率については、前回調査に比べ上昇傾向にあるなど目標達成に向けて順調に伸びている。要因としては、新型コロナウイルス感染症が長期化し、外出やスポーツをする機会が減少したことによる、個人の健康に対する意識の高まりが挙げられる。ウィズコロナにおけるスポーツ活動については、個人参加型の教室の再開に取り組んだ結果、水泳教室や総合体育館指定管理者主催のスポーツ教室の参加者、小中学校の屋内運動場の参加者や利用者数は昨年度を大きく上回る結果となっており、各指標の向上の一助になったものと考えている。</p> <p>全国・全道規模の大会も再開されていることから、引き続き施設管理と大会運営の両面から、感染防止対策を徹底しながら生涯スポーツの普及と競技力の向上、体育施設の利用促進を図るとともに、スポーツ団体等との連携や支援に努めていく。</p>					

■有識者会議による点検 (対象 非対象)

点検結果	
------	--

■施策の評価(二次評価)

【二次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後の 方向性	A-1	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う
上記特記事項	<p>○各指標の推移等は、一次評価のとおりと考える。</p> <p>○施設開放や大会運営に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底し、市民が安全で快適にスポーツができる環境の維持に努めること。</p> <p>○総合体育館の整備については、長寿化計画に沿って着実に取組を推進すること。</p>		

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(1)生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と市民体力の向上

(第7次総合計画 基本計画 P.154)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値	
	成人の週1回以上のスポーツ実施率		令和元年		24.2%	65.0%	
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			24.2%		36.9%		
指標推移	◎	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)				
主な取組	<p>★教育委員会や指定管理者の主催による各種スポーツ教室の開催(教育部生涯スポーツ課)</p> <p>○小中学校の屋内体育館を利用した学校開放事業の実施(教育部生涯スポーツ課)</p> <p>○市民歩こう運動や体力テスト会などの市民の健康・体力づくり推進事業の実施(教育部生涯スポーツ課)</p>						
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当		
	④ 目的と概要						
	⑤ 事業等実施状況						
	1	① 水泳教室開催経費(01487)		② 5,945 千円		③ 教育部生涯スポーツ課	
		④ 市内民間プールで水泳を通して市民の健康増進とスポーツの普及を図ることを目的とし、小樽市主催の水泳教室を実施する。					
		⑤ 延べ参加者数 令和元年度～6,279人 令和2年度～4,366人 令和3年度～5,389人					
	2	① 教育委員会主催スポーツ教室		② 予算なし 千円		③ 教育部生涯スポーツ課	
		④ 市民の健康・体力づくりのため、教育委員会主催スポーツ教室を実施する。					
		⑤ 延べ参加者数 令和元年度～702人 令和2年度～392人 令和3年度～360人					
	3	① 指定管理者主催スポーツ教室		② 予算なし 千円		③ 教育部生涯スポーツ課	
		④ 市民の健康・体力づくりのため、指定管理者主催スポーツ教室を実施する。					
		⑤ 延べ参加者数 令和元年度～4,779人 令和2年度～1,000人 令和3年度～1,779人					
	4	① 学校開放事業費(01485)		② 15,519 千円		③ 教育部生涯スポーツ課	
④ 市内小中学校、教育委員会庁舎の屋内運動場の開放及び高島小学校温水プールを開放し、市民のスポーツに接する機会を増やし、体力向上を図る。							
⑤ 屋内運動場(小中学校)使用延べ人数 令和元年度～39,584人 令和2年度～14,700人 令和3年度～19,881人 屋内運動場(教育委員会庁舎)使用延べ人数 令和元年度～6,036人 令和2年度～3,900人 令和3年度～3,106人 高島小学校温水プール利用延べ人数 令和元年度～15,146人 令和2年度～9,570人 令和3年度～7,144人							
5	① 歩くスキー事業費(01486)		② 468 千円		③ 教育部生涯スポーツ課		
	④ 冬期間における市民の健康・体力づくりと歩くスキーの普及を図るため、小樽からまつ公園運動場運営ハウスを開放し、用具の無料貸出しを行う。						
	⑤ 令和元年度開放日数～67日、ハウス利用延べ人数～1,574人、スキー貸出延べ人数～986人 令和2年度開放日数～64日、ハウス利用延べ人数～1,520人、スキー貸出延べ人数～891人 令和3年度開放日数～62日、ハウス利用延べ人数～1,308人、スキー貸出延べ人数～594人						
6	① 市民歩こう運動		② — 千円		③ 教育部生涯スポーツ課		
	④ 市民の健康増進と体力づくりを目的として、5～10月の毎月第1日曜日にウォーキングを実施する(消耗品ほか事務経費の一部として実施)。						
	⑤ 延べ参加者数 令和元年度～301人 令和2年度～142人 令和3年度～121人						
指標推移の要因等	成人の週1回以上のスポーツ実施率は前回調査に比べ上昇傾向にあるが、長引くコロナ禍により家にこもる時間が長くなり、スポーツに親しむ機会が減少する恐れがある。						
令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等> 令和3年度の取組を継続						
指標推移への対応方針 (令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>						
	1	<p>1: 各事業をこのまま継続して推進する</p> <p>2: 予算事業等を改善しながら推進する</p> <p>3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う</p> <p>・感染対策ガイドラインの遵守を徹底し、市民の健康増進を図るため、生涯スポーツ事業計画を着実に実施する。</p>					

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(2)スポーツ団体との連携と競技力の向上

(第7次総合計画 基本計画 P.155)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値	
	成人の週1回以上のスポーツ実施率		令和元年		24.2%	65.0%	
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			24.2%		36.9%		
指標推移	◎	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)				
主な取組	<p>★市民スポーツ大会や運河ロードレース大会などの開催(教育部生涯スポーツ課) ○各種スポーツ競技の普及啓発やスポーツ推進委員との連携(教育部生涯スポーツ課) ★子どもたちのための各種スポーツ教室等の充実(教育部生涯スポーツ課)</p>						
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当		
	④ 目的と概要						
	⑤ 事業等実施状況						
	1	① 市民スポーツ大会実行委員会補助金(03351)		② 230 千円		③ 教育部生涯スポーツ課	
		④ 市民の誰もが参加できるスポーツの祭典として昭和41年にスタートし、本市のスポーツ振興、市民の競技力向上と健康増進に大きな役割を果たしている。					
		⑤ 延べ参加人数 令和元年度～4,256人 令和2年度～2,481人 令和3年度～1,330人					
	2	① おたる運河ロードレース大会実行委員会補助金(01493)		② 0 千円		③ 教育部生涯スポーツ課	
		④ 市民の健康増進や児童の運動機会の創出、体力向上、さらには本市の観光活性化のため、小樽市内、市外に広く参加者を募集し、マラソン大会を実施する。					
		⑤ 平成30年度参加者数～3,556人 令和元年度参加者数～2,071人 令和2年度中止 令和3年度中止					
	3	① 子どもたちのための各種スポーツ教室		② 予算なし 千円		③ 教育部生涯スポーツ課	
		④ 発達段階において積極的にスポーツに親しむ機会を創出し、心身の健全な成長を図るため、幼児、小学生を対象とした教育委員会及び指定管理者主催のスポーツ教室を実施する。					
		⑤ 実施教室数 平成30年度～9教室 令和元年度～10教室 令和2年度～10教室 令和3年度～10教室					
	4	① 市民体カテスト会		② 予算なし 千円		③ 教育部生涯スポーツ課	
		④ 自分の体力の実態を知ることにより、その後の体力づくりと維持について関心を深め、自分に適した運動を行い、健康・体力増進を図るため、スポーツ推進委員と連携し体カテスト会を実施する。					
		⑤ 延べ参加人数 平成30年度～63人 令和元年度～82人 令和2年度～中止 令和3年度～16人					
5	①		②		③		
	④						
	⑤						
6	①		②		③		
	④						
	⑤						
指標推移の要因等	成人の週1回以上のスポーツ実施率は前回調査に比べ上昇傾向にあるが、長引くコロナ禍により家にこもる時間が長くなり、スポーツに親しむ機会が減少する恐れがある。						
令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等> ・おたる運河ロードレース大会については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度、令和3年度と開催中止となったが、令和4年度については、感染症対策を講じた上で、3年ぶりの大会開催に向けて取り組む。						
指標推移への対応方針(令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>						
	1	<p>1: 各事業をこのまま継続して推進する 2: 予算事業等を改善しながら推進する 3: 予算事業等の内容的な全面的な見直しを行う</p> <p>・おたる運河ロードレース大会は、令和4年度の実施結果を分析し、実施方法等を検討する。 ・各事業とも新型コロナウイルス感染拡大防止対策を万全にして実施する。</p>					

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(3) 体育施設の整備と利用促進

(第7次総合計画 基本計画 P.155)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
		主な体育施設3施設(総合体育館、高島小学校温水プール、銭函パークゴルフ場)を利用する延べ利用者の人口に対する割合		平成30年		117.0%	122.0%	
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			118.5%	70.5%	64.6%			
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 ⇒ ◎、実績値 < 標準値 ⇒ △)					
主な取組	<p>★市民の健康増進と子どもたちのスポーツ振興に寄与する総合体育館と市民プールの整備の検討(教育部生涯スポーツ課)</p> <p>○安全で快適にスポーツができる施設の適正な運営による利用促進(教育部生涯スポーツ課)</p>							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 総合体育館と新市民プールの整備検討		② 予算なし 千円		③ 生涯スポーツ課		
		④ 市長部局と連携して、小樽市総合体育館長寿命化計画を策定した。						
		⑤ 打合せ回数 令和元年度～2回 令和2年度～3回 令和3年度～令和4年2月計画策定済み						
	2	① 体育施設管理経費(01504)		② 2,177 千円		③ 生涯スポーツ課		
		④ 安全で快適にスポーツができる施設を維持するため、必要に応じて修理を行った。						
		<p><修繕箇所(主なもの)></p> <p>令和元年度 からまつ運動場・庭球場(400千円)、望洋台サッカー・ラグビー場(244千円)、弓道場(224千円)他</p> <p>令和2年度 小樽公園運動場・庭球場(609千円)、からまつ運動場・庭球場(400千円)、弓道場(16千円)他</p> <p>令和3年度 祝津ヨットハウス(400千円)、からまつ運動場・庭球場(303千円)、桜ヶ丘(30千円)他</p>						
	3	① 手宮公園競技場整備事業費(01890)		② 11,605 千円		③ 生涯スポーツ課		
		④ 円盤・ハンマー投げ用囲いの経年劣化による整備不良に伴い、新たな囲いを設置した。						
		⑤ 令和3年度設置完了 (11,605千円)						
	4	①		②		③		
		④						
		⑤						
5	①		②		③			
	④							
	⑤							
指標推移の要因等	令和2年度同様に令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館が相次いだため、各体育施設の利用者の増加を図ることが難しかった。							
令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等>							
	総合体育館と市民プールの整備の検討については、令和4年2月に策定した「小樽市総合体育館長寿命化計画」において、プール室を備えた体育館に建て替える方向性を示すことができた。 令和4年度は、整備(建設)に向けて「基本構想」の策定に着手する。							
指標推移への対応方針(令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>							
	1	<p>1: 各事業をこのまま継続して推進する</p> <p>2: 予算事業等を改善しながら推進する</p> <p>3: 予算事業等の内容的な全面的な見直しを行う</p> <p>・「小樽市総合体育館長寿命化計画」において示されたスケジュールに合わせ、令和5年度以降、「基本計画」、「基本設計」「実施計画」「建設着手、竣工」「解体工事」を実行していく。</p> <p>・感染対策ガイドラインの遵守を徹底し、引き続き安全、安心な施設の開放に努める。</p> <p>・老朽化している各体育施設の修繕を実施する。</p>						